

現代社会 シラバス

| 科目名 | 単位数 | 学年 | 学期 | 必修・選択 | 対象学科 |
|------|-----|----|----|-------|------|
| 現代社会 | 3単位 | 3年 | 全 | 必修 | 全学科 |

1 概要および目標

- (1) 現代社会の諸問題について、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点から究し、時事的な問題と関連させながら、現代社会に対する興味・関心を高める。
- (2) 資料の収集と活用の仕方、レポートのまとめ方、討論の仕方、メディアの利用の方など、学び方（スキル）を習得させる。
- (3) 現代社会について多様な角度から理解させるとともに、現代社会と自己とのかかりに着目し、いかに生きるかを主体的に考えさせる。

2 評価

- (1) 定期テスト
学期ごとに、中間テスト、期末テストを実施する。
- (2) 授業発表
教科書の音読や前に出での発表、板書なども適宜行う。
- (3) 提出物
教材プリントを随時提出させる。
テスト前や学期末に現代社会ワークノートやプリントファイルを提出させる。
- (4) 授業
授業の出欠状況、授業態度などを評価する。
- (5) 課題学習
レポート作成など生徒の主体的な学習活動を評価する。
- (6) 評価方法
定期テスト点、授業発表点、平常点などを数値化・平均化して素点を算出する。
各学期は素点、年度末は各学期の素点の平均を5段階の評定に換算する。

3 使用教科書、教材

教科書：第一学習社『現代社会』

副教材：第一学習社『現代社会ワークノート』・浜島書店『ニュービジョン現社』

4 授業の展開と形態

クラスごとに一斉授業

5 学習方法

授業は学習計画に従い、課題やレポート等を随時実施して学習の内容の徹底をはかる。

現代社会 学習計画

| 月 | 単元名 | 授業内容 | 留意事項 |
|---|--------------------------------|---|--|
| 4 | 第1部 現代に生きるわたしたちの課題 | ①地球環境とわたしたちの未来 ②資源・エネルギー問題とわたしたちの生き方 ③科学技術の発達と生命 | <ul style="list-style-type: none"> ・5つの課題「調べよう・考えよう」を題材とし、「スキル」IからVI（P38～P50）を活用して、課題を追究する学習を行わせる。 ・(例)地球環境問題→教員による基本的事項に関するレクチャー→生徒による地球環境問題に関する自己研究課題の設定→図書館利用による資料収集→インターネット利用による検索→レポートの作成→代表者によるプレゼンテーション→ディベートやディスカッションなどを行う。 |
| 5 | 第2部 現代の社会と人間 第1章 現代の社会生活と青年 | 1.現代社会の特質とわたしたちの生活 2.現代社会と青年の生き方 3.よりよく生きることを求めて | |
| 6 | 第2章 現代の経済と国民福祉 1.経済のしくみ | ①技術革新と産業社会の変化 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④国民経済の活動水準 | |
| | 2.政府の経済的役割 | ①市場と政府 ②財政と財政制度 ③金融の役割 | |
| 7 | 3.変化する日本経済 | ①高度経済成長と産業構造の転換 ②経済のバブル化とその崩壊 ③日本の財政問題 ④金融の自由化と国際化 ⑤中小企業と農業 | |
| 9 | 4.豊かな生活の実現 | ①自立した消費者への道 ②労働者の権利 ③現代の雇用・労働問題 ④社会保障の役割 ⑤公害の防止と環境保全 | <ul style="list-style-type: none"> ・プラザ合意後の日本経済の歩みを、不良債権問題、貸し渋り、財政危機、金融ビッグバン、米の自由化などの今日的な問題と関連させて指導する。 ・公定歩合の上下についても、プラザ合意後の具体的な日本経済との関係で説明する。 ・具体的な問題商法などの消費者問題、リストラ・過労死・男女雇用機会均等法などの現代の雇用・労働問題、介護保険制度、年金問題など、現代日本の経済社会の時事的問題を現実の生活と結びつけて指導する。 |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 10 | <p>第3章 日本国憲法と民主政治</p> <p>1.民主政治とは</p> <p>2.日本国憲法と基本的人権</p> | <p>①民主政治の原理</p> <p>②民主政治のしくみ</p> <p>③世界のおもな政治体制</p> <p>①日本国憲法と三つの原理</p> <p>②基本的人権の保障(1)</p> <p>③基本的人権の保障(2)</p> <p>④新しい人権と人権の国際的広がり</p> | <p>・経済問題と同じように、現代政治の焦点を中心に指導することによって、科目「現代社会」の特色を生かすよう指導する。経済の単元と同じように、授業の導入で今日の政治ニュースを紹介、コメントする。</p> <p>・現代社会の時事的問題や今日的テーマを意識しながら授業を展開する(環境権などの「新しい人権」や、外国人の地方参政権などの「人権の国際化」など)。</p> |
| 11 | 3.国会・内閣・裁判所 | <p>①国会と政党</p> <p>②内閣と行政</p> <p>③裁判所と法の支配</p> | <p>・現代社会の時事的問題や今日的テーマを意識しながら授業を展開する(行政国家と国会との関係および国会改革・行政改革・特殊法人問題、司法改革など)。</p> |
| 12 | 4.政治参加と民主政治 | <p>①世論と政治参加</p> <p>②選挙と政治参加</p> <p>③地方自治と地域社会</p> <p>④平和主義と安全保障</p> <p>⑤民主社会の倫理と課題</p> | <p>・現代社会の時事的問題や今日的テーマを意識しながら授業を展開する(NPO、地方分権一括法と機関委任事務の廃止、市町村合併、地方分権財政、PKO協力法、ガイドライン関連法、有事法制関連3法、イラク支援特措法など)。</p> |
| 1 | <p>第4章 国際社会と人類の課題</p> <p>1.国境をこえる経済</p> | <p>①企業活動のグローバル化</p> <p>②国際経済のしくみ</p> <p>③戦後国際経済の枠組みとその変化</p> <p>④先進国間の対立と協調の時代</p> <p>⑤グローバル化する国際経済</p> | <p>・経済の単元と同じように、授業の導入で今日の国際ニュースを紹介、コメントする。</p> <p>・私たちの日常の経済生活がいかに世界と結びついているかを具体例を示しながら授業を展開する。</p> <p>・ボーダーレス経済、グローバル経済の光と影を認識させ、「地球規模で考えて、地域で行動すること」の大切さを理解させる。</p> |
| 2 | 2.ボーダーレス化のなかの地域 | <p>①地域経済統合の進展</p> <p>②変容するロシアとアジアの経済</p> <p>③多様化する南の世界</p> | <p>・ユーロの導入などを題材に、EUを中心とした地域統合の進展などを理解させる。その際、ユーロ紙幣や硬貨を具体的に生徒に示しながら、ユーロ導入の歴史的意味を考えさせる。</p> |
| | 3.国際社会の成立と戦後の動き | <p>①国際社会の成り立ち</p> <p>②国際紛争を避けるしくみ</p> <p>③国際連合の現状と課題</p> <p>④東西対立とその後の世界</p> | <p>・ウエストファリア条約によって成立した主権国家を中心とした国際社会が、今日、変容してきていることを理解させる。</p> <p>・冷戦の終結を宣言したマルタ会談の歴史的意味を中心に、戦後の東西対立を中心とした国際政治の特徴を理解させる。</p> |

